

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2022
(会場:新国立劇場)

ジャコモ・プッチーニ
「蝶々夫人」

【全2幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>】

2022年7月8日(金) 11日(月) 12日(火) 14日(木) 15日(金) 16日(土)
全6回公演 全日 13:00 開演 新国立劇場オペラパレス

全席指定 高校生以下 2,200円(要学生証) / 一般(大人)4,400円
高校生以下発売日:2022年5月22日(日)/一般発売日:2022年6月29日(水)

令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

主催:公益財団法人新国立劇場運営財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

**新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室で
本物の感動を体験する。**

高校生の心に感動を伝え続ける新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室。1998年より毎年開催され、今年で24回目を迎えます。これまでに『蝶々夫人』『トスカ』『カルメン』『カヴァレリア・ルスティカーナ』『椿姫』『ラ・ボエーム』『愛の妙薬』『夕鶴』などオペラの名作を上演、高校生及び学校関係者に好評を得てきました。来場する高校生は毎年約1万2千人、これまでに約24万人の高校生が参加しています。例年、来場者の約8割以上がオペラ鑑賞初体験という高校生たちですが、幕が開くとざわついた劇場内はたちまち静まり返り、ドラマティックなストーリー展開と歌手やオーケストラの生演奏に引き込まれていきます。

『蝶々夫人』はオペラ鑑賞教室でも最も上演の多い作品で、これまでに、東京公演で10回、関西公演で6回上演されており、蝶々さんの一途な愛の悲劇を繊細に劇的に描いたオペラが、多感な高校生の皆さんに深い共感を生んでいます。

日本を代表するオペラ歌手、オーケストラが出演する本格的な舞台を、各方面からのご支援により破格の料金でご覧いただく貴重な機会です。一般の皆様への周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

助成: 公益財団法人 **ロームミュージックファンデーション**

協賛: **ローム株式会社**  **損保ジャパン**

<写真、資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>
新国立劇場制作部 オペラ広報 高梨木綿子
Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/
e-mail:takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室

「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及をめざす新国立劇場が、次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供する機会として 1998 年(平成 10 年)より毎年開催しています(※)。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じプロダクションを上演。日本を代表するオペラ歌手が出演し、生のオーケストラ演奏で上演しています。高校生を学生扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変好評をいただいております。また、2008 年(平成 20 年)から開始された関西地域での公演は、2016 年(平成 28 年)よりロームシアター京都を会場とし、毎年新国立劇場、ロームシアター京都あわせて約 1 万 2 千人の高校生が「本物の芸術」であるこの公演を体験しています。

今年度の新国立劇場公演は、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成、協賛としてローム株式会社、損害保険ジャパン株式会社のご支援のもと、ブッチーニのオペラ『蝶々夫人』を上演します。

新国立劇場公演に続きロームシアター京都での公演は、京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、新国立劇場、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁の主催、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成、ローム株式会社の協賛により、2022 年 10 月 25 日(火)・27 日(木)に同じ『蝶々夫人』を上演いたします。

※2020 年 7 月に予定していた高校生のためのオペラ鑑賞教室『夕鶴』は、新型コロナウイルス感染症の拡大により公演中止となり、参加を予定していた学校向けに『魔笛』のダイジェスト版映像を配信しました。

■2019 年鑑賞教室『蝶々夫人』アンケートより

2019 年(『蝶々夫人』上演)のアンケート結果によると、オペラ鑑賞初体験の高校生は全体の約9割(89.5%)を占めましたが、約 9 割(89.5%)の高校生が鑑賞後に「とても良かった／面白かった」「良かった」と答えました。また、オペラをまた見たいかという質問にも、約 9 割(93.8%)の高校生が「自分でチケットを買って見たい」「学校やグループで行く機会があればまた見たい」と回答しました。参加する学校も年々増え、毎年首都圏の約 50 校が参加しています。

(高校生のコメント)

- ◆キャストの方々の演技がすごくて、最後の方は辛くて、表情が見れなかった。それくらい、とても演技が上手だった。
- ◆役になりきるとか、すごすぎて、他のことが気にならなくなるほど集中してしまった。
- ◆舞台の構図や光と影が絵画みたいできれいだった。
- ◆初めてオペラをみて、こんなにも迫力があって、おもしろいものなんだと思いました。感動しました。音楽も最高でした。
- ◆舞台が立体的で映画などで味わえない感覚で、生の声もきけたので、ずっとこの舞台を見たことを忘れないと思います。
- ◆本当に、物語も、音楽も出演者の表情や動き一つ一つも本当にすばらしくて、終始釘付けになってしまいました。幕の演出も幻想的で息をのむほど美しかったです。来て本当によかったと思いました。
- ◆人を愛することがどれだけ尊いものであるか、改めて実感させられ、とつても心に残る感動的なオペラでした。出演者の方々の歌や、演技に心が奪われてしまい素敵な時間を過ごさせてもらおうと共に良い経験になりました。
- ◆「ある晴れた日に」だけ聞いたことがありました。歌詞の意味を初めて知ったので、ふるえが止まりませんでした。機械を通さない歌声があんなにも心を震わせるのかと感動しました。
- ◆人間とはこんなにも大きな声を出せるのかとおどろきました。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
『蝶々夫人』2019 年公演より



■『蝶々夫人』 あらすじ

明治の頃、長崎の海を望む丘。アメリカ海軍士官のピンカートンは、結婚あっせん人ゴローの仲介で 15 歳の芸者、蝶々さんを身請けし、アメリカ領事シャープレスの忠告をよそに軽い気持ちで結婚式を挙げる。やがてピンカートンは帰国。愛を信じて疑わぬ蝶々さんは音信不通の夫の帰りを、3 歳になった息子と女中のスズキとともに待つ。やがてアメリカで正式に結婚したピンカートンが妻ケートを連れて長崎に。すべてを悟った蝶々さんは、わが子をピンカートンに託すと決め、父の形見の短剣で命を絶つ。

■プロフィール

【指揮】阪 哲朗

BAN Tetsuro

京都市立芸術大学作曲専修卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科に留学。95年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。ピール市立歌劇場専属指揮者、ブランデンブルグ歌劇場専属第一指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者、レーゲンスブルグ歌劇場音楽総監督を歴任。現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術参与。欧米での客演も数多く、ドイツ、オーストリアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれる。2008/09年の年末年始にウィーン・フォルクスオーパーで『こうもり』を指揮したことは大きな話題となった。日本国内では、主要オーケストラ、二期会などのオペラ公演を指揮している。新国立劇場では03年『ホフマン物語』、04年『カヴァレリア・ルスティカーナ』、21年高校生のためのオペラ鑑賞教室・ロームシアター京都公演『ドン・パスクワレ』を指揮。

【演出】栗山民也

KURIYAMA Tamiya

早稲田大学文学部演劇科卒業。主な演出作品に『GHETTO／ゲットー』『きらめく星座』『海をゆく者』『組曲 虐殺』『スリル・ミー』『ピアフ』『敦原 桜校』『デスノート The Musical』などがある。紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞、毎日芸術賞千田是也賞、朝日舞台芸術賞、芸術選奨文部科学大臣賞などを受賞。13年春、紫綬褒章を受章。新国立劇場では『今宵かぎりは…』『ブッダ』『夜への長い旅路』『欲望という名の電車』『夢の裂け目』『ワーニャおじさん』『櫻の園』『浮標』『夢の泪』『世阿彌』『喪服の似合うエレクタ』『箱根強羅ホテル』『夢の痂』『CLEANSKINS／きれいな肌』『氷屋来たる』『まほろば』『雨』『マニラ瑞穂記』『あわれ彼女は娼婦』、オペラ『夕鶴』『蝶々夫人』などを演出。著書に「演出家の仕事」。新国立劇場演劇芸術監督を7シーズン務め、05年4月から16年3月まで新国立劇場演劇研修所所長を務める。

【蝶々夫人】木下美穂子

KINOSHITA Mihoko 〈7月8日・12日・15日〉

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。第70回日本音楽コンクール第1位、第16回新日録音楽賞、2007年リチア・アルバネーゼ プッチーニ国際声楽コンクール第1位、第16回出光音楽賞等多数受賞。小澤征爾指揮『ドン・ジョヴァンニ』『ドン・エルヴィーラ以降』、東京二期会『椿姫』『ヴィオレッタ』『ローエングリン』エルザ、佐渡裕プロデュースオペラ『カルメン』『ミカエラ』、ロームシアター京都および東京二期会『フィデリオ』『レオノーレ』、札幌・神奈川・大分『アイダ』タイトルロール等多数主演。殊に『蝶々夫人』タイトルロールでは、ロンドン・ロイヤルアルバートホール、ピサ・ヴェルディ劇場、ソフィア国立歌劇場、ミンガン・デトロイト歌劇場、バンクーバー・オペラ等に出演、確固たる国際的評価を築いている。コンサート・ソリストとしても全国各地のオーケストラと共演、好評を博している。新国立劇場では高校生のためのオペラ鑑賞教室『椿姫』『ヴィオレッタ』、同『ラ・ボエーム』『ミミ』、同『トスカ』タイトルロール、同『蝶々夫人』タイトルロール、小劇場オペラ『外套』『ジョルジッタ』、「ニューイヤー・オペラパレスガラ」などに出演している。CD「イル・クオーレ」リリース。二期会会員。

【蝶々夫人】森谷真理

MORIYA Mari 〈7月11日・14日・16日〉

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院声楽専攻首席卒業後、渡米シメネス音楽院修了。世界各地のコンクールにて優勝、受賞歴多数。専属歌手を務めたリッツ州立劇場をはじめ、ウィーン・フォルクスオーパー、ライブツィヒ歌劇場など欧米の主要歌劇場で『マリア・ストゥアルダ』『椿姫』タイトルロール、『カルメン』『ミカエラ』、『トゥーランドット』リユーなどで活躍。2006年には『魔笛』夜の女王役でメトロポリタン歌劇場デビューを飾り、一躍注目を集めた。今年5月にはザクセン州立歌劇場で『蝶々夫人』タイトルロールに出演した。国内では14年びわ湖ホール『リゴレット』ジルダで日本でのオペラデビューを飾った後、東京二期会『ばらの騎士』元帥夫人、『サロメ』『蝶々夫人』『ルル』タイトルロール、びわ湖ホール『ローエングリン』エルザ、日生劇場『後宮からの逃走』コンスタンツェなどを演じ、卓越したテクニックと表現力で目覚ましい活躍を見せている。国内外の著名指揮者および主要オーケストラとの共演も多く、ベートーヴェン「第九」をはじめ、モーツァルト／ヴェルディ「レクイエム」等のソリストを務め、高い評価を得ている。19年には「天皇陛下御即位を祝う国民祭典」にて国歌独唱を務めた。小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。下総院一音楽賞受賞。新国立劇場では21年『カルメン』フラスキータ、22年『ばらの騎士』マリアンネに出演している。

【ピンカートン】村上公太

MURAKAMI Kota 〈7月8日・12日・15日〉

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。文化庁在外派遣研修員としてイタリア・ボローニャへ留学。ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際コンクールにおいて『リゴレット』マントヴァ公爵役を獲得。シンガポール・リリック・オペラに『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『魔笛』タミーノ、『サロメ』ナラボート、『椿姫』アルフレードと立て続けに客演し、好評を博す。東京二期会では『マクベス』マルコム、『チャールダーシュの女王』ボニ、『ダナエの愛』ホルクス、『トリスタンとイゾルデ』メロートで活躍。16年日生劇場『後宮からの逃走』ペドリッコも好演した。新国立劇場では『パルジファル』第1の聖杯騎士、『こうもり』アルフレード、『ばらの騎士』ファーニナル家の執事、『ヴェルテル』シュミット、『カルメン』レメンダード、『ファルスタッフ』フェントンに出演している。最近では、20/21シーズン開幕公演『夏の夜の夢』ライサンダー、『こうもり』アフレード、『イオランタ』アルメリック、高校生のためのオペラ鑑賞教室2021『カルメン』ドン・ホセ、21/22シーズン『蝶々夫人』ピンカートンに出演した。二期会会員。

【ピンカートン】城 宏憲

JO Hironori 〈7月11日・14日・16日〉

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第10期修了。文化庁新進芸術家海外研修制度にてイタリアへ留学。16年東京二期会『イル・トロヴァトーレ』において急遽代役としてマンリーコを歌い二期会デビュー。17年二期会『トスカ』カヴァラドッシ、18年同『ノルマ』ポリオーネ、グランドオペラ共同制作『アイダ』ラダメスの各役で出演。19年には二期会『エロディアド』ジャン、グランドオペラ共同制作『カルメン』ドン・ホセとフランス・オペラでも活躍。20年二期会『椿姫』アルフレード、21年東京・春・音楽祭『マクベス』マルコムと話題の公演への出演が続く。第84回日本音楽コンクール声楽部門第1位並びに岩谷賞（聴衆賞）、第8回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞、岐阜県芸術文化奨励賞、市民特別奨励賞（岐阜県関市）受賞。新国立劇場では『ドン・カルロ』レルマ伯爵／王室の布告者、『さまよえるオランダ人』エリックに出演している。二期会会員。

■公演概要

タイトル	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2022 「蝶々夫人」 全2幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付> 令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト																														
スタッフ	指揮：阪哲朗 演出：栗山民也 美術：島次郎 衣裳：前田文子 照明：勝柴次朗																														
キャスト	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>(7月8・12・15日)</td> <td>(11・14・16日)</td> </tr> <tr> <td><蝶々夫人></td> <td>木下美穂子</td> <td>森谷真理</td> </tr> <tr> <td><ピンカートン></td> <td>村上公太</td> <td>城 宏憲</td> </tr> <tr> <td><シャープレス></td> <td>成田博之</td> <td>近藤 圭</td> </tr> <tr> <td><スズキ></td> <td>小林由佳</td> <td>但馬由香</td> </tr> <tr> <td><ゴロー></td> <td>糸賀修平</td> <td>升島唯博</td> </tr> <tr> <td><ボンゾ></td> <td>伊藤貴之</td> <td>畠山 茂</td> </tr> <tr> <td><神官></td> <td>上野裕之</td> <td>千葉裕一</td> </tr> <tr> <td><ヤマドリ></td> <td>高橋正尚</td> <td>吉川健一</td> </tr> <tr> <td><ケート></td> <td>佐藤路子</td> <td>十合翔子</td> </tr> </table>		(7月8・12・15日)	(11・14・16日)	<蝶々夫人>	木下美穂子	森谷真理	<ピンカートン>	村上公太	城 宏憲	<シャープレス>	成田博之	近藤 圭	<スズキ>	小林由佳	但馬由香	<ゴロー>	糸賀修平	升島唯博	<ボンゾ>	伊藤貴之	畠山 茂	<神官>	上野裕之	千葉裕一	<ヤマドリ>	高橋正尚	吉川健一	<ケート>	佐藤路子	十合翔子
	(7月8・12・15日)	(11・14・16日)																													
<蝶々夫人>	木下美穂子	森谷真理																													
<ピンカートン>	村上公太	城 宏憲																													
<シャープレス>	成田博之	近藤 圭																													
<スズキ>	小林由佳	但馬由香																													
<ゴロー>	糸賀修平	升島唯博																													
<ボンゾ>	伊藤貴之	畠山 茂																													
<神官>	上野裕之	千葉裕一																													
<ヤマドリ>	高橋正尚	吉川健一																													
<ケート>	佐藤路子	十合翔子																													
合唱	新国立劇場合唱団																														
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団																														
主催	公益財団法人新国立劇場運営財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁																														
助成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション																														
協賛	ローム株式会社 損害保険ジャパン株式会社																														
日程	2022年7月8日(金)13:00、11日(月)13:00、12日(火)13:00、 14日(木)13:00、15日(金)13:00、16日(土)13:00																														
会場	新国立劇場オペラパレス																														
料金(税込)	高校生以下 2,200円 一般(大人) 4,400円																														
チケット発売	高校生以下発売日：2022年5月22日(日)10:00～ 一般発売日(大人)：2022年6月29日(水)10:00～																														
お問い合わせ	新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999 https://www.nntt.jac.go.jp/opera/educational-madamabutterfly/																														